

燃費性能 **30.0km/ℓ** アクティバ/スタイル2WD NA車

新型軽乗用

「キャスト」

DAIHATSU CAST DEBUT! 3つの世界観を同時に発売

登場! 生活を彩る自分仕様を選択

ダイハツから新しい軽自動車のキャストが登場した。一番の特徴は3つの個性的なデザインを選べること。悪路走行の得意なSUV風の「アクティバ」、都会的で上品な雰囲気「スタイル」、走りの楽しさを満喫できる「スポーツ」(10月末発売予定)を用意した。ムーヴやタントも2種類の内外装を選べるが、3種類という設定はコペンと同様に新鮮だ。内外装を個性的に仕上げる一方で、全高はスタイルが1600mm、アクティバは1630mmに設定され、後席を含めて居住空間は広い。後席をたためば荷物も積みやすい。さらに先進の低燃費技術を採用して、2WDのJC08モード燃費はノーマルエンジンが30km/ℓ、ターボも27km/ℓと優れている。緊急自動ブレーキによって衝突の回避を支援するスマートアシストIIも用意されて安心感を高めた。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351代表

ダイハツ
新型
キャスト
特集号



CAST STYLE
ディテールにこだわった
都会的なスタイル



CAST SPORT
専用アイテムで
スポーティテイスト

(10月末発売予定)



CAST ACTIVA
アクティバは力強さと
立体感を表現

サウンドシステムと3Dシミュレーター

趣味でクルマを楽しむユーザーには、オーディオも大切な。キャストはプレミアムダイヤトーンサウンドシステムプランを設けた。注目されるのは、車内を音響空間に洗練させる工夫を盛り込んだこと。ドアに貼り付けてスピーカーによるビビリを防ぐ防振シート、ドアの穴を埋めて音が漏れないようにする吸音材、スピーカーの背面に貼って音のこもりを抑える拡散シート、スピーカーとドアの間を埋めて余計な音を遮断する遮音用クッションをセットしている。この音響システムに6スピーカーを組み合わせたわけだ。またボディタイプや色彩を選ぶ時に楽しめるのが3Dシミュレーター。自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンで3Dシミュレーターを操作して、自分の好みの1台に仕上げられる。キャストのオーナーになるなら、購入する前から大いに楽しんで欲しい。

ACTIVA Body Color



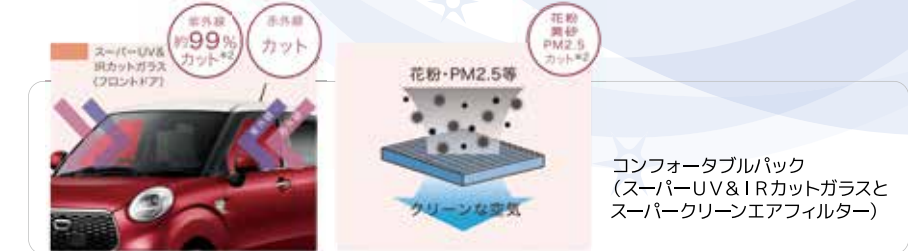
キャストはさまざまな用品が選べます

選ぶ楽しさ/用品

特に注目されるのがドレスアップパーツで、ヘッドランプやフォグランプを縁取るガーニッシュ(装飾)、デカール、ボンネットなどに入るストライプ、さらにアルミホイールなどがある。ルーフキャリアにはクラシックなデザインのタイプも設定した。内装ではインパネをウッド調にアレンジしたり、本革巻きのステアリングホイールも装着できる。車内を彩るイルミネーションも豊富で、内外装を自分流に楽しくコーディネートできるように配慮した。



ヘッドランプ ガーニッシュ フォグランプ ガーニッシュとフロントガーニッシュ



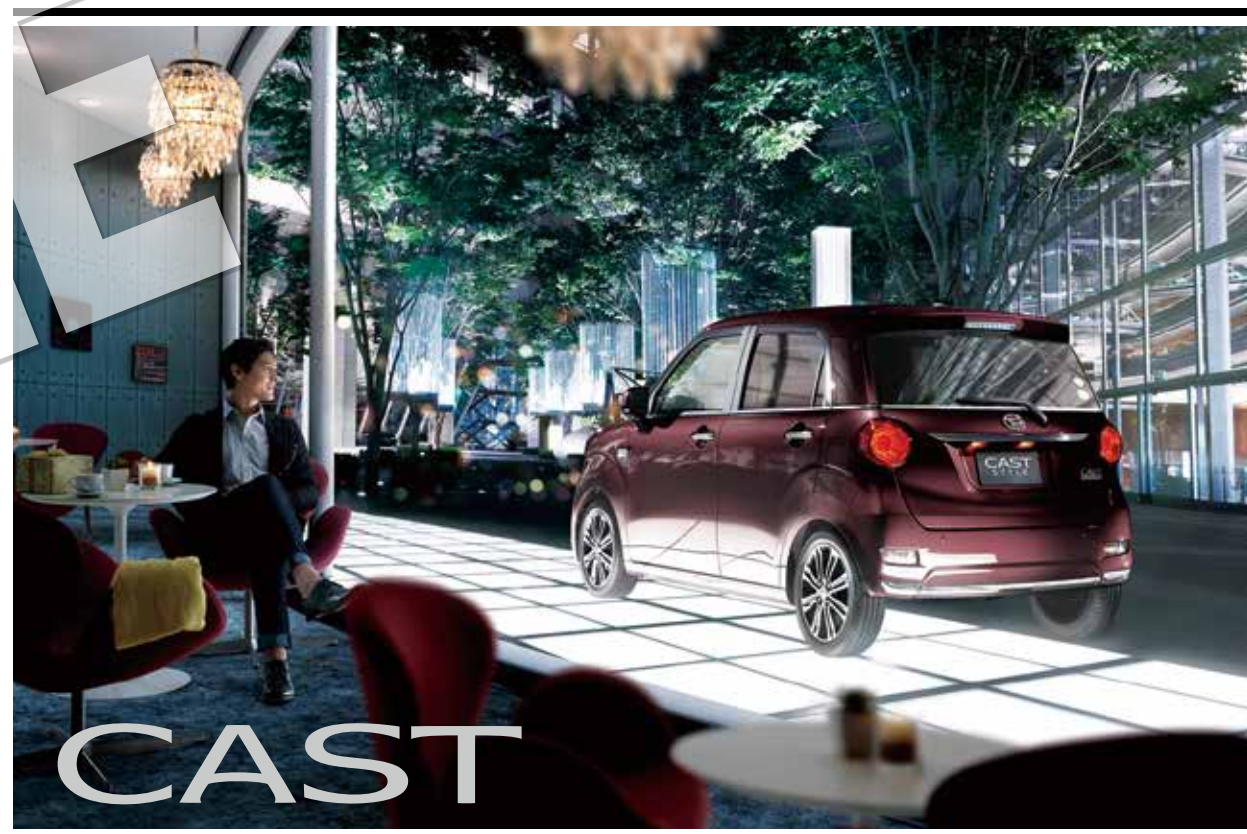
コンフォータブルパック
(スーパーUV&IRカットガラスと
スーパークリーンエアフィルター)

ウォームパック
(運転席シートヒーターと
ウィンドシールドディアイサー)

主要諸元表	キャスト アクティバ						キャスト スタイル					
	2WD		X	4WD		X	2WD		X	4WD		X
グレード	GターボSA II*	GSA II*	SA II*	GターボSA II*	GSA II*	SA II*	GターボSA II*	GSA II*	SA II*	GターボSA II*	GSA II*	SA II*
全長×全幅×全高(mm)	3,395×1,475×1,630※			3,395×1,475×1,600※			3,395×1,475×1,600※			3,395×1,475×1,600※		
室内(長×幅×高)mm	2,005×1,320×1,245			2,005×1,320×1,245			2,005×1,320×1,245			2,005×1,320×1,245		
ホイールベース(mm)	2,455			2,455			2,455			2,455		
トレッド(前 mm)	1,295			1,295			1,305			1,305		
トレッド(後 mm)	1,295			1,265			1,295			1,265		
最低地上高(mm)	180			175			150			145		
車両重量(kg)	840			890			840			890		
JC08モード燃費消費率(km/ℓ)	27.0	30.0		25.0	26.8		27.0	30.0		25.0	26.8	
最小回転半径(m)	4.7			4.7			4.7			4.7		
乗車定員(名)	4			4			4			4		
エンジン型式	K F型			K F型			K F型			K F型		
種類	水冷直列3気筒12バルブDOHCインタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHCインタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHCインタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHCインタークーラーターボ機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHC機構	水冷直列3気筒12バルブDOHCインタークーラーターボ機構
総排気量(cc)	658			658			658			658		
最高出力(kW<PS>/rpm)	47<64>/6,400	38<52>/6,800		47<64>/6,400	38<52>/6,800		47<64>/6,400	38<52>/6,800		47<64>/6,400	38<52>/6,800	
最大トルク(N·m<kg-m>/rpm)	92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200		92<9.4>/3,200	60<6.1>/5,200	
使用燃料/タンク容量(L)	無鉛レギュラーガソリン/30			無鉛レギュラーガソリン/30			無鉛レギュラーガソリン/30			無鉛レギュラーガソリン/30		
トランスミッション	CVT			CVT			CVT			CVT		
駆動方式	FF(前2輪駆動)			フルタイム4WD(4輪駆動)			FF(前2輪駆動)			フルタイム4WD(4輪駆動)		
ステアリング形式	ラック&ピニオン			ラック&ピニオン			ラック&ピニオン			ラック&ピニオン		
ブレーキ形式 前/後	ベンチレーテッドディスク/リアディングトラレーシング			ベンチレーテッドディスク/リアディングトラレーシング			ベンチレーテッドディスク/リアディングトラレーシング			ベンチレーテッドディスク/リアディングトラレーシング		
サスペンション 前	マクファーソンストラット式コイルスプリング			マクファーソンストラット式コイルスプリング			マクファーソンストラット式コイルスプリング			マクファーソンストラット式コイルスプリング		
サスペンション 後	トーションビーム式コイルスプリング			3リンク式コイルスプリング			トーションビーム式コイルスプリング			3リンク式コイルスプリング		
タイヤ	165/60R15 77H			165/60R15 77H			165/55R15 75V			165/55R15 75V		

※シリアルナンバー(10月初旬発売予定)装着車は1,640mm
燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法に
応じて変化します。詳しくは販売店におたずねください

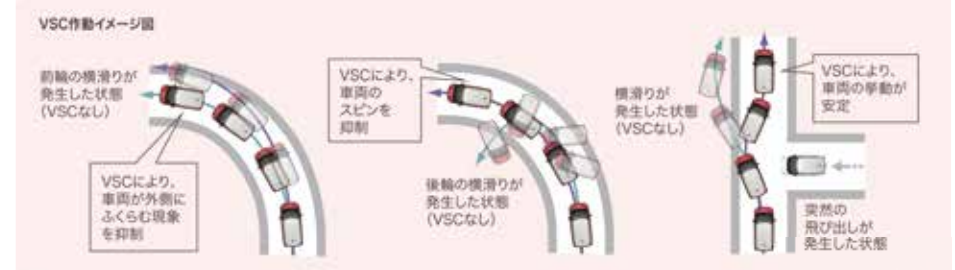
※シリアルナンバー(10月初旬発売予定)装着車は1,610mm



CAST

パッケージと静粛性

キャストは天井が高めの設定で、フロントウィンドーの角度も立てたので車内は開放的な雰囲気だ。前席はサイズに余裕を持たせ、背中から大腿部をしっかり支える。座面は適度に柔軟で、座り心地にボリューム感が伴う。インパネなどの質感も高いから、車内の雰囲気は従来の軽自動車のイメージを超えている。後席は頭上と足元の空間が余裕の広さ。ムーヴやタントと共通の空間効率優れたプラットフォームを活用して、前後席に座る乗員のヒップポイント間隔は1000mmに達した。これはLサイズセダンと同等か、それ以上の数値だから広々としている。大人4名がゆったりと快適に乗車できる室内空間を備える。後席には前後に240mm調節できるスライド機能を採用した。後席にチャイルドシートを装着した時などは前に寄せると便利。信号待ちの時などに親が子供のケアをしやすく、後席の後ろ側の荷室も広がるため、子供用の自転車なども積める。広い室内をさらに快適にするため、ボディパネルは隙間や穴の数を減らし、音の侵入を防いで静粛性を向上させた。ステアリングのパッド取り付け部分にはゴムを使い、振動も低減させている。ボディの各部を入念に造り込んだ。



開発者の声 片山英則氏

最近のお客様の好みは、従来の実用重視から、ちょっと贅沢な個性を大切に方向へ変わってと分析しています。クルマも同様で、デザインや色彩が重視されるSUVや輸入ハッチバック車が人気を高めるようになりました。

これらのジャンルは年々成長しており、軽自動車についても経済性に加えてデザイン性を求める声が高まっています。このニーズに応えるには、既存の車種のフルモデルチェンジではなく、まったく新しい商品の開発が必要だと考えました。そこから誕生したのがキャストです。愛着の持てる普遍的なデザインを追求して、軽自動車を超える上質感を目指しました。アクティバ/スタイル/スポーツという3つのタイプを選ぶことも大きな特徴で、お客様の多様なニーズに応えています。さらにJC08モード燃費が30km/lの低燃費、さまざまなシーンで安全性を高めるスマートアシストIIなど、安心して長く使っただけの軽自動車に造り込みました。

低燃費技術

キャストは全高が1600~1630mmに達するボディによって広い室内を備えるが、その一方で燃費性能も優れている。ノーマルエンジンを搭載した前輪駆動の2WDは、JC08モード燃費が30km/lに達した。優れた燃費性能の背景にあるのは、ダイハツ独自のe:Sテクノロジーだ。排出ガスの一部を吸気系に再循環させて、燃焼温度を下げ、効率を高めるクールd-i-EGR、CVT(無段変速機)の温度調節を最適化して抵抗を軽減させるCVTサーモコントローラーなどを採用し、エンジンやCVTといった駆動メカニズムの効率を高めた。ボディの樹脂化など軽量化も積極的に行い、数ある軽自動車の中でも特に優れた燃費性能を達成している。ターボも高い動力性能を得ながら、JC08モード燃費は27km/lと優れている。ノーマルタイプ、ターボともに高効率なエンジンをそぞろた。エコカー減税は、2WDで見るとノーマルエンジンが免税、ターボも自動車取得税が85%、自動車重量税が75%の減税になる。



安全装備

グレード名の末尾に「SA II」が付いている仕様は、スマートアシストIIを装着する。緊急自動ブレーキによる衝突回避の支援機能で、スマートアシストIIは前方と後方の両方にセンサーを設けた。前方については、センサーとして赤外線レーザーと単眼カメラを併用する。前方を走る車両に衝突する危険が生じた時は、ドライバーに警報を発して、衝突不可避の状態では緊急自動ブレーキも作動させる。ブレーキ機能は時速50kmを上限とするが、警報については時速100kmまで対応した。カメラを使っているため、歩行者を検知できることも特徴だ。歩行者への対応は警報のみだが、時速50km以下で走行中に危険が生じると、ドライバーに知らせてくれる。このほかカメラを使うことで路上の白線も検知、車線を逸脱した時の警報も行う。アクセル/ブレーキペダルの操作ミスによって壁などに向かって急発進しようになった時、エンジンの出力を自動的に絞る。後方に向けた音波によるソナーセンサーも採用した。シフトレバーがR(リバーズ/後退)に入っていて、さらにペダルの操作ミスによって車両が建物などに向かって急発進しようになった時、エンジン出力を自動的に絞る。便利な機能としては、信号待ちなどで停車中、先行車が発進しても自車が止まっている時、発進できることを知らせてくれる。



CAST SPORT 専用アイテムでスポーツテイスト (10月末発売予定)

スポーツは運転の楽しさを大切に考えた仕様。ボディ側面の下側には、赤のストライプが入ったサイドストーンガードを装着する。フロント側にはエアロバンパーが備わり、この下側にも赤のストライプを入れた。日中も点灯できるフロントLEDイルミネーションランプも備わる。このほかフロントグリルはメッシュ調のスポーツグリルになり、ドアミラーや後部のピラー(柱)も赤で仕上げた。内装はレッド&ブラックでスポーティな雰囲気。ホワイトのレザー調シート生地を備えたプライムインテリアも選べる。走行性能も向上。ホイールとタイヤは16インチにサイズアップされ、サスペンションのスプリング、ショックアブソーバーも変更した。スポーティな運転感覚を満喫できる。

キャストの一番の特徴は、1つの車種で3つの外観を選べること!

3つのバリエーション

アクティバは人気の高いSUVのイメージだ。ボディの下側には、車体を守るアンダーガード風の樹脂パーツが装着されて野生的な雰囲気に仕上げている。スタイルは下まわりにメッキパーツを豊富に装着して高級感が漂う。上品で都会的な雰囲気を醸成させる。スポーツにはエアロパーツやサイドストーンガードが備わり、アルミホイールはサイズの大きな16インチとして、走りのイメージを強めている。そして、すべてのタイプに共通するボディの基本スタイルは、水平基調で背が少し高い。前後左右ともに視界が良く、後席を含めて室内空間も広い。個性的なデザインと優れた実用性を両立させた。



《ACTIVA》外観をSUVのテイストで力強く仕上げた。機能的な特徴は、最低地上高(路面とボディの最も低い部分との間隔)をスタイルよりも30mm高めたこと。前輪駆動の2WDは180mm、4WDは175mmを確保。悪路のデコボコも乗り越えやすい。余裕のある最低地上高は、駐車場の段差などでも安心感が高い。前後バンパーの下側には、シルバーの樹脂製アンダーガードを装着。これも悪路に強いSUVの雰囲気を盛り上げる。フロントマスクの下側と、ボディの側面に装着されたサイドアモールなどには、ガンメタリック塗装を施して骨太な印象を見せている。内装ではシートの生地がディーブオーダー柄になり、色彩もブラックを基調にしてスポーティに仕上げた。オプションで内装のアクセントカラーをブルーやオレンジに変更したり、レザー調のシート表皮を備えたブラックのプライムインテリアも選べる。

アクティバのグリップサポート制御とDAC制御—悪路、雪道に強い

アクティバの4WDには、グリップサポート制御、DAC(ダウンヒルアシストコントロール)制御を採用した。いずれも4WDとの相乗効果によって悪路の走破力を高める。グリップサポート制御は、滑りやすい路面で片側のタイヤが空転を生じた時に作動する。空転しているタイヤにはブレーキをかけ、空転していない側には駆動力を与えて、安定して発進したり加速することが可能だ。DAC制御は、滑りやすい斜面をゆっくりと安定して下れる機能。時速約4~15km(後退時は時速約4km)に速度を設定すると、ドライバーがブレーキ操作をしなくても、車両が自動的に制動力を調節しながら安定して下れる。この時には電子制御によって4輪のブレーキがそれぞれ独立制御されるから、ドライバーのブレーキ操作を超えた安定性が得られる。なお、これらの機能は横滑り防止装置の応用技術だから価格が安いことも特徴だ。この機能を持たないスタイルの4WDと比較して、5400円の価格上昇に抑えた。



CAST STYLE ディテールにこだわった都会的なスタイル



《STYLE》内外装を都会的で上品な雰囲気に仕上げている。外観ではボディの下側にメッキパーツを装着した。前後にはメッキバンパーモール、ボディサイドにはメッキサイドロッカーモールが備わる。さらにドアハンドルにもメッキ処理を施した。内装は明るい色彩で仕上げられ、シート表皮は肌触りが良くて上質なスエードとした。内装のアクセントカラーはシルバーになる。メーカーオプションでは、パーガンディとライトブラウンのアクセントカラーを設定。このほかにもブラックインテリアバック、ホワイトのレザー調シートを備えたプライムインテリアも選べる。

